

唐突ですが、ぼくは大石田町と隣の尾花沢市が合併することに反対しました。住民投票の結果、合併はしないことになりましたが、べつに尾花沢市が嫌いだとか、財政がどうなるとか、住民サービスがどうなるとかはあまり眼中にはありませんでした。反対する理由はたったひとつでした。大好きな町民歌が歌えなくなるということでした。

「最上川の上空にして 残れるはいまだ美しき虹の断片」斉藤茂吉の歌にメロディをつけたものです。重厚なメロディが茂吉の歌とともに、この大石田の風土をすべて表しているのです。

「白き山」と茂吉が詠んだ葉山。葉山は四季折々に見事に彩を変えます。木々の萌える春色、森深い緑の夏色、錦の万華鏡の秋色、そしてモノトーン白き山の冬色。大石田の人々は葉山の色の移ろいを心に刻みながら暮らしているのです。その繰り返しがここで暮らす私たちの人生なのです。いつも葉山とともにあるのです。

「最上川」は山形県内のみを流れて日本海に注ぎます。源流部の米沢から河口の酒田まで流域の山々の清流を集めて海へと向かいます。上流から下流までの景観は実に多様でその表情はすべての地域で異なるのです。よどむことなく、とうとうと流れる最上の流れにあつたゆたう笹舟のような私たちの人生。不動の葉山に抱かれながらも最上の流れに生きることはかなさを見たとき、「美しき虹の断片」こそが希望の光として残ったのです。と、勝手に私はこの歌を味わっているのです。

「最上川の上空にして 残れるはいまだ美しき虹の断片」

「最上川の上空にして 残れるはいまだ美しき虹の断片」

すばらしい町民歌でしょう。

*町民歌はこちらから聞くことができます

<http://www.town.oishida.yamagata.jp/index.html>

《おまけ》

封切りになったばかりの映画「剣岳」の浅野忠信演じる主人公柴崎芳太郎はわが大石田町出身なのだそうです。きっと心の中の葉山が支えだったのかもしれない。



田中正信さん

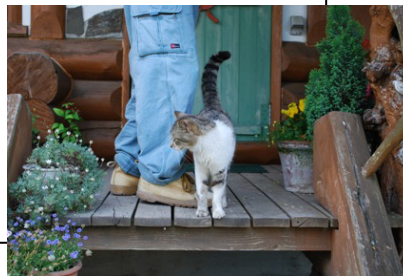
埼玉県で国語の先生をしていました。家族で大石田に移住して18年。大石田をこよなく愛し、大石田を語り始めると止まりません。今や、大石田になくってはならない存在です。

この猫ちゃん？ 海藤さんの農家民宿「でくのぼう」

の外で飼われている「ねこ」。

訪れる人を玄関でお出迎え。

「でくのぼう」の“番犬”ならぬ“番猫？”です。



大石田を楽しもう倶楽部会報第2号いかがでしたでしょうか。大石田の今、そして楽しみ方をこれからもたくさんお伝えしていきます。会報は季刊、次回発行は9月の予定です。秋の「大石田そばまつりツアー（10月予定）」のご案内をします。どうぞお楽しみに！

引き続き、会報の名称を募集中です。アイデアを事務局までお寄せください。

事務局：〒112-0012 東京都文京区大塚5-9-2-2F NPO法人あったかキャッチボール内

TEL 03-5976-3040 FAX 03-5976-6234

E-mail attaka@room.ocn.ne.jp

★入会ご希望の方は、事務局にご連絡ください。入会金：無料 年会費：1,000円

- 特典 ・年4回の会報をお送りします。大石田を楽しむ企画に参加できます。
- 会員 ・この会の目的に賛同して入会した、個人及び団体
 - ・会員の入会について、特に条件は定めません。